

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ（オプトアウト）～

**研究課題名** 侵襲性糸状菌症の病理画像解析システムの開発

**研究機関名** 公益財団法人がん研究会有明病院

**研究責任者** 病理部 副部長 二宮浩範

### 【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は、診断に難渋することのある侵襲性糸状菌症の病理診断において、病理画像データを用いた補助診断法（病理画像解析システム）の開発に利用します。本研究で得られる成果は、侵襲性糸状菌症の病理診断に関する診断精度の向上と診断の均てん化、並びに不足している診断病理医への円滑な業務支援につながることを期待されます。

### 【他機関への提供】

当院で保管している病理標本（組織標本・ブロック等）そのものを院外へ提供することはありません。ただし、研究の解析に必要な範囲で、当院で作製した病理画像データ（デジタル画像）および匿名化した臨床情報の一部を、研究代表機関（東邦大学医療センター大森病院）へ提供し、解析・検討を行う場合があります。提供する情報には、氏名、住所、患者 ID など個人が直接特定できる情報は含めません。

### 【研究に用いられる試料・情報】

当院にて外科手術を受けた方と病理解剖を行なった方で、最終的に病理診断にて「侵襲性糸状菌感染症」と診断がついた方を対象として、摘出した肺組織等の残余検体から組織標本作製し、改めて病理組織学的に検索を行います。これらの病理画像データを用いて補助診断法の開発に利用します。研究に利用する試料・情報は、患者様のお名前、住所など個人を特定できる情報は削除し、性別・年齢・基礎疾患・起炎菌の培養結果・標本保管年数等の必要最小限の情報と紐付けて管理します。また、本研究で得られた成果を医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。なお本研究は他施設共同研究として、本邦の複数の共同研究機関と協力して研究を行います。

### 【試料・情報の取得方法】

**対象者：**2006年4月～2025年3月までに当院において外科手術を受けた方、または病理解剖を行った方で、最終的に病理診断にて「侵襲性糸状菌感染症」と診断がついた患者様。

**方法：**手術や病理解剖で摘出した「侵襲性糸状菌感染症」と診断がついた組織標本の残余検体を利用して、病理組織学的な解析を行います。また診療録（カルテ）から抽出したデータも解析対象としますが、個人を特定できるような情報を利用した解析は行いません。

### 【研究組織】

代表施設名：東邦大学医療センター大森病院 研究代表者：教授 栃木 直文

共同研究機関：公益財団法人がん研究会 有明病院 研究責任者：病理部 副部長 二宮 浩範

共同研究機関：市立札幌病院 研究責任者：辻 隆裕

共同研究機関：近畿大学医学部 研究責任者：栗原 一彦

共同研究機関：刈谷豊田総合病院 研究責任者：伊藤 誠

**【研究組織、試料・情報の管理について責任を有する者の名称】**

公益財団法人がん研究会有明病院病理部 副部長 二宮 浩範

本研究に関してご質問のある方、患者様及び代諾者様で試料や情報を本研究に利用することを承諾されない方は、下記へご連絡ください。患者様及び代諾者様より申し出のあった方の試料・情報は、利用を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

**【連絡先および担当者】**

公益財団法人がん研究会有明病院 病理部

副部長 二宮 浩範

電話：03-3520-0111（大代表）